



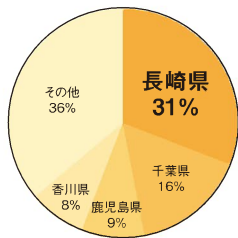
長崎びわ

太陽と潮風の恩恵をいっぱい浴びて、
人の情熱が大切に育んだ美味しさの至宝。

特徴

温暖な気候がびわ栽培に適した長崎は、江戸時代から続くびわの一大産地です。

冬に低気温が続くと、中には死んでしまうものまで出てくるほどデリケートなびわの実ですが、日本の最西端に位置し、太陽の光をいっぱい浴びることができる長崎は、年間を通じて温暖な気候で、びわ栽培に適した環境。日本一の生産量を誇ります。



平成30年産びわの収穫量の割合
【農林水産統計】

工夫

デリケートな果肉を大切に育て、扱うことで、
繊細な美味しさが生まれます。

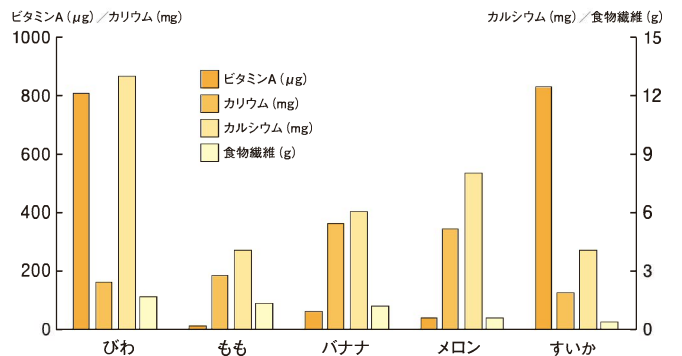
露地栽培では、果実一つひとつに袋かけを行い、傷つきやすいびわの実を大切に育てています。また、出荷時には発送当日に収穫をするなど鮮度を保つ工夫も美味しさの秘訣です。

効果

美味しいだけじゃない。
健康面への効果も期待できます。

風邪予防、整腸作用、美肌効果、高血圧抑制、カルシウム吸収抑制、がん抑制効果、老化予防などの効果が期待されます。

栄養分の比較 (100gあたり) [日本食品標準成分表(七訂)]



出荷時期

■ 出荷可能時期 ●●● ハウス栽培の旬の時期 ◀▶▶▶ 露地栽培の旬の時期

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
茂木					●●●	●●●	●●●					
長崎早生			●●●	●●●	●●●	●●●						
涼風				●●●	●●●	●●●						
なつたより					●●●	●●●						

美味しい食べ方

美味しいびわをもっと美味しくする方法。

びわは鮮度が命です。
お早めにお召し上がりください。

長崎では、出荷当日に収穫しています。

冷蔵庫で長く冷やしておく
固くなってしまいます。

涼しいところで保存し、冷蔵庫で冷やす場合は
2〜3時間が目安。

おヘソの方からむくと
キレイにむけます。

加工品のご紹介

長崎びわの美味しさ、いろいろ。

●長崎びわゼリー

長崎びわを丸ごと一個ゼリーで包んだ
清涼感たっぷりの美味しさ。びわの種ま
で食べられて、健康への効果も期待さ
れるほんのり甘いお菓子です。



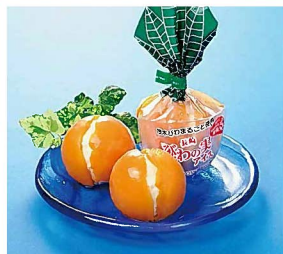
●長崎びわネクター

完熟したびわの果実を6個分使った贅
沢なジュース。味わい、香り、色など、フ
レッシュな果汁そのまま。長崎市内の飲
食店や土産店などで販売。業務用サイ
ズ(1L)もあります。



●長崎びわアイス

小さく刻んだびわの果肉が入った爽や
かなアイス。丸ごと1個のびわが
キュートに丸くサンドしています。まるごと
1個使ったびわの存在感も嬉しい美味
しさです。



●長崎びわの葉茶

夏バテや食あたりの予防として、古くか
ら愛飲されてきたびわの葉。その他、さま
ざまな効果が期待できることから、注目
度アップの商品です。ティーバック入り
で販売しています。



びわの品種紹介

自慢の味をぜひ食べ比べてみてください



茂木

江戸時代に中国から伝来したびわの種子
現在の茂木地区にまいたことが始まりと
される品種。びわ栽培の草分け的存在で、
特に西日本を中心に広い範囲で栽培され
ている。果実の大きさは50g前後。



なつたより

「長崎早生」と「福原早生」を交雑して誕生
した「なつたより」は、丸みがあり大きな果実
が特徴。柔らかくジューシーな果肉は、食味
に優れ、甘みが強い。2009年に品種登録
されており、長崎市内のびわ産地では、露
地びわの優良品種として改植が進められ
ている。



長崎早生

長崎におけるハウスびわの主力品種であり、
3月ごろには店頭に並ぶ姿を見ることが
できる。安定した甘みがある果実は「茂木」
と似た形をしており、果重も50g前後となっ
ている。



涼風

長崎県の果樹試験場において、「茂木」と
他品種のびわの交雑により生まれた品種。
出荷時期は「茂木」より若干早く、卵型の
果実が特徴。やや大ぶりの果実に含まれる
果汁は多めで、糖度も高いことから、「茂
木」よりも食味は良いとされる。

生産者の顔

びわ農家

森 純幸さん

interview
生産者インタビュー

長崎を代表する果物「びわ」。長崎県の中でも最も栽培が盛んな場所が茂木、川原地区です。わたしは代々びわ農家で、通常ハウス、簡易ハウスを中心にびわを栽培しています。ここは、急傾斜が多く、決して立地条件は良くありません。しかし、日当たりが良い、水はけが良い、更に海からのミネラルたっぷりの風がびわにとっては好条件なんですよ！

びわは11月から12月に花が咲き、1月から2月に効果になります。

幼果になってから気温が氷点下3度以下になると種が枯死し

てしまい商品にならなくなりますが、そうならない

よう寒害対策ができる簡易ハウスを導入しました。

びわの実はとてもデリケートな果物で気温や天候に

すぐ左右されますが、簡易ハウスの導入で安心

して作業ができるようになりました。

収穫は時間との勝負。我が家は5万房(5万袋)の

果実を1週間〜2週間の間に収穫してしまいます。

今は在来種の「茂木」よりもひと回り大きな

「なつたより」が人気があります。ジューシー

で甘味が強く、これからのびわ産地を牽引

する品種です。旬が短く貴重な果物。

その時期だけしか食べられないからこそ、

ぜひ味わってほしいですね。贈り物にも

きっと喜んでもらえると思います。

